令和７年度　社会福祉法人小百合会　事業報告

□法人全体の総括

令和７年度は、規程類の整備や労務管理の強化、研修の充実を通じて、職員が働き続けられる環境づくりを重点的に進めた一年であった。児童発達支援・相談支援・生活介護・共同生活援助など各事業において、地域連携の深化と専門性の向上に取り組み、利用者支援の質の向上を図った。また、訪問療育委託に向けた市との協議や新規事業準備、法人内の会議体運営の適正化を進め、法人としての運営基盤の整備・強化を進めた。

□法人本部

令和７年度は、定例理事会４回、緊急理事会２回、定例評議員会１回を開催し、法人運営に関わる重要事項について適切な審議・決議を行った。

令和６年度に引き続き、職員が働きやすく職場に定着できる環境づくりを目的として、社労士と連携しながら就業規則・非常勤就業規則・給与規程・経理規程・個人情報保護規程・育児介護関連規程など、各種規程類の見直しを進めた。

あわせて、労務管理の適正化と制度運用の見直しを進めた。採用応募者対応の標準化、有給簿の整備、年次有給休暇の取得管理など、日常的な労務運用の改善に取り組むとともに、処遇改善加算の計画書作成、俸給表の改定、賃金支給日の変更に伴う制度整備など、賃金体系に関わる業務を進めた。さらに、勤怠管理の適正化と業務効率化を図るため、従来のタイムカード方式を廃止し、勤怠管理システムの導入準備を進め、運用方法の整理や打刻ルールの統一、管理者向け説明など、次年度の本格運用に向けた環境整備を行った。

法人運営の透明性と意思決定の適正化を図るため、法人本部の役割・機能の整理を進めるとともに、法人全体の体制見直しに着手した。現行の法人組織規程については、運営実態との乖離を整理し、次年度の改定に向けた準備を進めた。また、主任者会議を毎月開催し、事業所の現況報告、処遇改善、労務管理、規程改定内容の共有など、法人全体の情報共有と方針統一を図った。

新規事業に関しては、平塚市こども家庭課と協議を行い、訪問療育委託事業の開始に向けた準備を進めた。また、神奈川県障害福祉課および茅ヶ崎市障がい福祉課と相談しながら、茅ヶ崎市東海岸南での新規事業について、建物配置や安全対策に関する協議を行った。

監査関係では、令和７年５月 26 日に監事監査を実施し、必要資料の準備・説明を行った。また、アグネス園に対する所轄庁指導監査（ZOOM）に対応し、改善点の整理と法人内共有を行った。

研修については、法人全体研修として、社会福祉法人常成福祉会みなせ相談支援センター岡西博一氏を講師に招き、「ストレングス視点からのスーパービジョン」研修を実施し、職員の専門性向上と支援の質の向上を図った。

□会議

○評議員会：開催回数１回

・令和７年６月２０日

出席評議員　６名　欠席評議員　１名　出席監事　１名

監事１名はテレビ会議システム（ZOOM）を利用して参加

決議議案：令和６年度事業報告及び決算報告、監事監査報告、役員人事、定款改定

○理事会：開催回数７回

・令和７年６月４日

出席理事　６名、出席監事　２名

決議議案：令和６年度事業報告及び決算報告、監事監査報告、定款改定、役員人事、評議員人事、評議員選任解任委員、評議員会及び評議員選任解任委員会の開催に関する決議、やしの木運営規程の改正、給与規程俸給表の改正、アイハイム事業変更、こども園にじの休止

・令和７年６月２０日

出席理事　６名、出席監事　２名

理事２名、監事１名はテレビ会議システムを利用して参加

決議議案：理事長の互選、業務執行理事の選任、評議員選任解任委員の選出

・令和７年８月１９日

出席理事　５名、出席監事　１名　欠席理事　１名、欠席監事　１名

決議議案：管理者の交代、アグネス園運営規程の改正

・令和７年９月１７日

出席理事　６名、出席監事　１名　欠席監事　１名

理事１名、監事１名はテレビ会議システムを利用して参加

決議議案：就業規則改定、非常勤就業規則改定、給与規程改定、非常勤給与規程制定、アグネス園再生エネルギー・送迎車両補助金、こども園にじの廃止、白星園、アイハイム　第三者委員の選任

・令和７年１２月１７日

出席理事　７名、出席監事　２名

監事１名はテレビ会議システムを利用して参加

決議議案：令和７年度第１回補正予算、経理規程の改定、育児・介護等休暇に関わる規則改定、個人情報保護規程の改定、アイハイム定員変更等運営規程改定、家賃滞納分の免責、車両（キューブ）の廃車、給与支給日の変更に伴う貸与制度

・令和８年１月７日
出席理事　６名、出席監事　２名
理事２名はテレビ会議システムを利用して参加
決議議案：業務執行理事の解任動議、業務執行理事の選任

・令和８年３月１８日
出席理事　６名、出席監事　２名
決議議案：令和７年度第２回補正予算、令和８年度事業計画及び予算案、就業規則の改定、テレワーク規程の制定、非常勤就業規則の改定、給与規程の改定、非常勤給与規程の改正、経理規程の改定、白星園家賃変更と運営規程の改定、非常勤職員の再契約に対する承認

○評議員選任解任委員会：開催回数１回
・令和７年６月２０日
出席者　３名　理事　１名
決議事項：評議員の選任

○主任者会議
・毎月１回（第４水曜日）法人本部にて開催
各事業所の現況報告、理事会報告、処遇改善報告、労務関係など

□監査

○監事監査
・令和７年５月２６日：法人本部にて実施

○所轄庁　指導監査と実施指導
・令和７年８月２９日
指導監査：アグネス園（ZOOM）

□研修

法人全体として、社会福祉法人常成福祉会　みなせ相談支援センターの岡西博一氏を講師に招き、「ストレングス視点からのスーパービジョン」について研修を行った。

令和７年度　事業報告
児童発達支援センター　アグネス園

令和６年４月の報酬改定を受け、地域の中核機能を担う児童発達支援センターとして市の事業である訪問療育に令和７年６月から参加し、今後３年を目途に完全委託となる見込み。「地域と共に」開かれたアグネス園を目指し、こども達、保護者に対してより専門的な支援を実施した。

5月の家庭訪問では、新入園児を主に自宅を訪問した。保護者の思いを傾聴し、日々の支援に反映することで、本人への支援、家族への支援強化に繋がった。また年間通して、クラス懇談会を実施、保護者の横の繋がりが構築された。

６月、12月には、こども達の特性理解のための保護者勉強会、ペアレントトレーニングを開催した。こども達の成長・発達や保護者のニーズに合わせた学びの場となった。保護者同志の意見交換など、互いに理解を深め、親交を育む機会となった。次年度は、卒園児保護者をピアサポーターとして迎えるなど、就学や地域移行、インクルーシブ教育を推進するための機会を設定していく。園の地域交流チャレンジ部から、こども達が地域の同年代のこども達と繋がっていけるような情報を発信し、サポートしていく。

7月、第73回湘南ひらつか七夕まつりにこども飾りで参加。折花や吹き流しの製作に保護者の協力のもと2か月を費やし完成させた。地域の伝統的な行事である七夕まつりに参加できた意義は大きいと感じている。また昨年、県の障がい者芸術文化活動センターが主催する絵画のワークショップでお世話になった画家の原良介氏の展示会にこども達が招待を受けた。美術館での絵画鑑賞がこども達にとって良い経験となった。今後も園の芸術文化部より、日常的にこども達が芸術文化に触れる機会を発信し続ける。

8月、年長児のお泊り保育では、初めて保護者から離れ、保育士や友達と共に過ごす貴重な体験となった。保護者の心配をよそに、こども達は楽しく元気に活動に参加することができた。

9月には、近隣の県立盲学校の児童による音楽交流会では一緒に合奏を楽しんだ。このような地域のこども同志の交流の機会を大切にしていきたい。

今年度は、保幼小連携交流会に参加し、卒園児の小学校での様子から今後の課題を地域の保幼小職員と共有したことをヒントに年長児の支援の充実を図ることができた。また、家族支援、きょうだい児支援の観点から土曜日イベントを開催すると、運動会、劇遊びで多くの家族が来園した。引き続き、土曜日の行事開催を予定する。

●年間行事

１）避難訓練及び消火訓練は、毎月実施

毎月の消火・避難訓練の実施、引き渡し訓練は11月に実施

２）嘱託医による健診

・小児科（2回）、眼科、耳鼻科、歯科（各１回）

●職員研修

内部研修

・4 月　相談室の役割について　相談室室長
　　活動プログラムロープレ（随時開催）
　　個別支援計画について
　　健康診断について、医ケア児について、痙攣発作時・アレルギー・嘔吐処理対応について
　　川口看護師
　　社会福祉法人小百合会の職員としての心構え　坂田業務執行理事
　　虐待防止、身体拘束適正化について
　　感染症及び自然災害 BCP について
　　有給簿、人事考課について
　　支援プログラムと園の方針について
　　腰痛体操（毎月）
・8 月　熱中症研修・プール活動時安全管理について
・9 月　県聴覚障害者福祉センターの役割と難聴体験
　　情報伝達訓練
　　BCP 研修（図上研修・水害編）
・10 月　ドライバー安全運転研修
　　BCP 研修（映像研修・感染症）
・11 月　バス添乗員、送迎従事者等研修
・1 月　応急処置研修

外部研修

・5 月　神奈川県公立障害児者通園施設・通園事業連絡協議会総会及び協議会
　　医療的ケア児に係わる支援者研修会
　　実効性のある自然災害 BCP の運営
・6 月　教育相談センター第 1 回こども発達支援担当勉強会
　　平塚市障がい者自立支援協議会こども部会医療的ケア児支援部会
　　平塚市障い者自立支援協議会こども部会第 1 回未就学児分科会
　　新任職員人権研修
・7 月　平塚市障い者自立支援協議会こども部会第 1 回学齢児分科会「虐待防止研修」
　　中堅職員合同交流・研修会
　　県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修（随時）
　　苦情解決研修会
　　新任福祉・介護施設など職員合同交流・研修会（前期）
　　特定給食施設等講習会

全国児童発達支援協議会職員研修会
全国知的障害関係施設長等会議
市発達支援室くれよん事例検討会

・8 月　サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修（随時）

・10 月　安全運転管理者等法定研修
マカトン講座
県意思決定支援ガイドライン研修
障害福祉施設協議会新任職員研修会
強度行動障害支援者基礎研修
県意思決定支援ガイドライン研修
聴覚障害児早期発見・早期支援のための研修会
重層的支援体制整備事業準備事業

・11 月　防災リーダー養成研修
災害防止講演会
県障害者虐待防止・権利擁護研修

・12 月　「聞こえにくいお子さんと向き合った 3 年間」講話
ICT 活用と導入課題、県西福祉会の取り組み、ロボット ICT 補助金について

・1 月　他事業所見学
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修（随時）
障害福祉施設協議会新任者研修
かながわ福祉サービス運営適正化委員会第 2 回苦情解決研修（実践編）
市発達支援室くれよん第 2 回発達支援担当勉強会

・2 月　県意思決定支援ガイドライン研修
強度行動障害実践研修

・3 月　「聞こえない子の明るい未来に向けて」講話
災害時における緊急受入施設協定事業者向け研修

●実習生の受け入れ（9 名）

・6 月 30 日～7 月 11 日　洗足こども短期大学部　幼児教育保育科
・7 月 30 日～8 月 21 日　鶴見大学　短期大学部　保育科
・8 月 18 日～9 月 1 日　國學院大學　人間開発学部子ども支援学科
・9 月 4 日～9 月 19 日　東京都市大学　人間科学部児童学科
・9 月 29 日～10 月 15 日　鎌倉女子大学　短期大学部　初等教育学科
・10 月 2 日～10 月 17 日　東海大学　児童教育学部　児童教育学科
・10 月 20 日～10 月 31 日　洗足こども短期大学部　幼児教育保育科
・11 月 4 日～11 月 17 日　東海大学　児童教育学部　児童教育学科

・3 月 5 日～3 月 19 日　相模女子大学　学芸学部　子ども教育学科

●年間活動プログラム

月	日	行事名	内容
4	3	入園式	新入園児、保護者を迎え入園式を実施
	4	適応保育開始	入園児対象に行う
5	7~	家庭訪問・面談月間	家庭訪問もしくは面談で保護者と情報共有
6	9～	保育参観月間	入園、進級から 2 か月の姿を保護者と共有する
	18	第１回ペアレントトレーニング	リトミックセラピー体験
	24	初めての合同集会	保護者、他事業所向けに公開保育
7	7	夏の合同集会	七夕のお楽しみ会
	8~	水遊び	園庭プールにて行う
8	22	年長児夏季イベント	お泊り保育、宿泊体験
9	9	秋の合同集会	公開保育、季節を感じる遊び
10	1~31	親子散歩月間	平塚総合公園で大型遊具､小動物とのふれあいを体験
	24	合同集会	ハロウィンイベント
11	8	運動会	運動遊び、体操、かけっこ
12	11	第２回ペアレントトレーニング	「ことばを育てる関わりあいとその支援」言語聴覚士
	25	冬の合同集会	サンタさんを囲み、歌とダンス
1	21	お楽しみ合同集会	お正月遊び（福笑い、だるま落とし、駒回し）
2	2~14	作品展	子ども達の作品を展示
	14	劇遊び	クラスで取り組んできたストーリーのある遊び
	17	新入園児説明会	令和 8 年度入園のための説明会
3	6	お別れ遠足	相模川ふれあい科学館親子バス遠足（県福祉バスともしび号）
	19	お別れ会	年長児を囲み、楽しい思い出作り
	26	卒園式	卒園児 14 名、親子参加

●利用児の状況

令和７年度出席人数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
登園日数	19	20	21	22	15	20	22	18	20	19	17	18	231
延人数	576	625	650	649	463	577	727	609	663	640	562	577	7318
1 日平均	30	31	30	29	30	28	33	33	33	33	33	32	375

令和７年度　事業報告
アグネス園（保育所等訪問支援）

通所受給者証の支給決定の下、訪問先施設において契約児の行動観察を実施した。併せて適応状況や訪問先スタッフの支援方法をみて適宜アドバイスを行う為、定期的にカンファレンスを行った。前年度から保育所等訪問支援の継続の児が所属する 3 施設と、新規で支援を開始した児の所属する 6 施設に対し、訪問先施設への適応状況を把握すると共に、訪問先施設の方針に合わせた支援方法と行動観察、カンファレンスを日程調整しながら実施した。

小学校への支援は、教育委員会の移行支援との区別を明確にする必要があり、平塚市こども発達支援室くれよんの担当者が教育委員会や小学校との間に入り、アグネス園相談室、保育所等訪問支援につなぎ支援開始に至った。また、直接的な支援を求める園においては、訪問先スタッフと一緒に活動に参加しその場で支援を行った。定期的な訪問を重ねることで、訪問先スタッフとの良好な関係構築を維持でき、訪問先スタッフ全体の発達支援児への特性理解や支援方法等の共有が円滑に行われ、利用契約児への配慮や支援スキル向上を図ることができた。また、訪問先スタッフからアグネス園見学の申し出や保護者（家族）支援に関する相談など、契約児の支援のみならず、幅広いニーズや課題を共有することが出来た。このことは、令和 7 年度に実施された訪問先施設の評価や保護者評価が高かったことにも表れている。

令和 6 年度の報酬改定より加算要件として認められた、テレビ電話装置（zoom）による面談を各訪問先施設に提案したが、対面での面談を希望されたことから利用には至らなかった。今後も、業務効率化の一環として訪問先施設や保護者との面談に活用できるよう声を掛けていきたい。

１、職員体制

管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、訪問員 4 名(全員非専従)

２、契約・訪問数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約数	3	3	3	3	3	5	5	6	7	9	9	9	
訪問数	0	6	4	3	0	9	9	9	10	12	15	14	

３、年齢

	小学生	年長	年中	年少	未就園児	合計
男	0	2	1	3	0	6
女	1	0	2	0	0	3
合計	0	2	3	3	0	9

４、支援先・地域内訳

	平塚市	伊勢原市	大磯町	二宮町
保育所・幼稚園 認定こども園	4	2	0	0
小学校支援級 放課後等デイサービス	1	0	0	0
合計	5	2	0	0

５、研修実績

４月	園内：法人として職員の心構え、支援プログラム、個別支援計画について、感染症及び自然災害 BCP、けいれん発作・アレルギー・嘔吐処理について、虐待防止・身体拘束適正化
５月	実効性のある自然災害 BCP の運営 ２０２５年度神奈川県内公立障害児者通園施設・通諸事業等連絡協議会　第１回定例会
６月	令和７年度平塚市こども発達支援室くれよん第１回発達支援担当勉強会 熱中症について
７月	平塚市自立支援協議会こども部会学齢児分科会虐待防止研修 園内：学齢児分科会虐待防止研修を受けて
８月	
９月	園内：自然災害 BCP(図上訓練)研修、感染症 BCP 映像研修 神奈川県聴覚障害者福祉センター職員による研修
１０月	平塚市こども発達支援室マカトン講座 強度行動障害基礎研修

	令和７年度知的分科会意思決定支援研修 令和７年度重層的支援体制整備事業準備事業 聴覚障害児早期発見・早期療育のための研修
１１月	防災リーダー養成研修 令和７年度災害防止講演会 令和７年度神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修
１２月	『聞こえにくいお子さんと向き合った３年間』講話 ICT の活用と導入課題、県西福祉会の取り組み、ロボット ICT 補助金について 令和７年度神奈川県サービス管理責任者児童発達支援管理責任者基礎研修
１月	他事業所研修 第２回苦情解決研修（実践編） 令和７年度平塚市こども発達支援室くれよん第２回発達支援担当勉強会 応急処置研修 令和７年度サービス管理責任者児童発達支援管理責任者実践研修
２月	強度行動障害実践研修 令和７年度神奈川県意思決定支援ガイドライン研修「生活支援編(第６回)」
３月	『聞こえない子の明るい未来に向けて』講話 令和７年度災害時における緊急受入施設協定事業者向け研修

令和７年度　事業報告
アグネス園相談室

１．　基本事業内容

（１）サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成

利用者または保護者の心身の状況、環境等を把握した上で、適切な保健、医療、福祉、教育等のサービスが、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成を行った。

（２）継続サービス利用支援

モニタリング期間に基づいて、利用者及びその家族と面談し、経過を把握しモニタリング報告書を作成した。サービス等利用計画・支援利用計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、福祉サービスの事業者等との連絡調整を行った。また、利用者及び保護者の状況の変化やニーズに沿って、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の変更を行った。

２．　職員体制

・管理者兼相談支援専門員　１名　　・相談支援専門員　２名　　・相談員２名

非常勤専従職員を２名採用し、相談支援体制強化を図った。

３．基本報酬

・相談従事者現任研修終了者１名を 11 月より配置した。そのため、サービス等利用計画及び継続サービス利用支援費の算定は機能強化なしから機能強化Ⅲへ変更となり、基本算定額を引き上げることができた。

	R６年度					R７年度					
	計画	モニタリング	サービス提供時モニタリング	サービス担当者会議	初回加算	計画	モニタリング	サービス提供時モニタリング	サービス担当者会議	集中支援加算他	初回加算
障害者に対する支援	5	5	1	0	0	1	8	4	0	3	0
児童発達支援 保育所等訪問支援	99	209	63	9	16	130	197	138	0	4	34
放課後等デイサービス	9	18	3	0	0	12	24	6	0	1	0
合計	113	232	67	9	16	142	229	148	0	8	34

４．計画相談実施回数

（１）指定特定相談支援事業（おあしす湘南他）：平塚市、中井町で５名

（２）指定障害児相談支援事業

①児童発達支援、保育所等訪問支援

：平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町、秦野市、厚木市で８２名。

アグネス園新入園児受け入れ他、平塚市内事業所利用児を幅広く受け入れた。

②放課後等デイサービス

：平塚市、二宮町で１１名

児童発達支援から放課後等デイサービスへ、または児童発達支援事業所移管にあたり、ご希望に沿った事業所を紹介し、相談業務の引き継ぎを実施した。

（3）各種（加算）算定実績

①障害児支援利用計画においてR6年度比で131%増になったが、障害児継続サービス利用支援においてはR6年度比94%に留まった。

②「サービス担当者会議実施加算（100単位）」0回。相談室と事業所連携による加算となるが、ご本人参加が必須要件となったことにより、調整が困難となり今年度実績に至らなかった。

③「集中支援加算（150～300単位）」7回、「医療・保育・教育機関連携加算（300単位）」1回を実施し、他機関主催会議を含めサービス提供事業者と支援について検討の場を設けた。

④「サービス提供時モニタリング加算（100単位）」148回。サービス提供状況を対象児（者）の事業所利用中の様子を把握し記録を作成した。R6年度比220%となった。

⑤その他「初回加算（500単位）は34回を実施した。R6 年度比212%となり、新規利用児の担当を、法人内外を問わず幅広く受け入れを行ったことで算定することができた。

４．職員研修

４月	新年度園内研修（３名）
５月	就労選択支援研修会～地域で作り上げる就労アセスメント（２名）
５月	成年後見制度講座（１名）
６月	基幹相談支援センターによる巡回・ミニ勉強会（４名）
６月	令和7年度第1回計画相談支援連絡会アセスメント研修（２名）
７月	平塚市こども部会学齢児分科会・未就学分科会　虐待防止研修（２名）
７月	法人全体研修　俸給表についての説明会（２名）
８月	令和7年度第2回計画相談支援連絡会GSV研修（１名）
９月	平塚市保健福祉事務所　精神頬兼福祉基礎研修（１名）
９月	令和７年度神奈川県相談従事者現任研修・インターバル実習（１名）
１０月	令和7年度第3回計画相談連絡会GSV研修（3名）
１０月	指定特定（指定障害児相談）の事業所運営の在り方 ～令和６年度報酬改定や施策の動向から考える～（２名）
１０月	子ども自立支援センター（きらり）令和７年度専門分野公開研修 適切行動支援　基礎・実践編（１名）

１２月	支給決定の見直しについて　障害児相談支援事業所との意見交換会（２名）
１２月	令和７年度第４回相談支援連絡会 GSV 研修（３名）
１２月	平塚市障がい福祉課・災害対策課合同説明会（２名）
１月	法人全体研修「支援の質を高めるための振り返りと気づき」～スーパービジョンの理論と方法を学び、実践事例を用いてストレングス視点のグループスーパービジョンを体験～（４名）
２月	相談支援事業所向け基礎研修（２名）
２月	令和７年度神奈川県相談従事者専門コース別研修「スーパービジョン・管理・面接技術」～ともに学び支え合うために～（１名）
３月	平塚市期間相談支援センター研修会　想いを形に「意思決定支援」その人らしい選択、みんなで応援～今日からはじめる寄り添いのヒント～（１名）

５．地域の相談支援体制強化

（１）ペアレントメンター事業

児童発達支援センターに求められる４つの地域中核機能の一環として、【幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能】【地域の発達支援に関する入口としての相談機能】に準じて、R７年度はペアレントメンター養成講座（全４回内第３回目）の「傾聴相談について」とロールプレイというテーマにて講師を担当した。

（２）分科会への参画

平塚市自立支援協議会学齢児分科会代表者会への参画により、年２回の研修会（虐待防止研修・GSV 研修）の企画・運営を担った。また、児童発達支援センターアグネス園の主催する未就学児分科会の事務局として年２回の情報交換会等の企画・運営を担った。

（３）個別避難計画策定

R7 年度平塚市個別避難計画作業業務委託を受け、１件（指定特相談支援契約者）の個別避難計画作成を担当した。

令和７年度　おあしす湘南　事業報告

＊利用状況＊（令和７年３月３１日時点）

定員　３０名　　現員　３８名　　（男性２０名　女性１８名）

支援区分	区分３	区分４	区分５	区分６	平均支援区分
	２名	４名	１８名	１４名	５.２

	平塚市	厚木市	伊勢原市	中井町
１０代	男性　２名	男性　１名	男性　１名	
２０代	男性　２名 女性　１名	男性　２名	男性　１名 女性　２名	
３０代	男性　２名 女性　２名	男性　１名	女性　３名	
４０代	男性　７名 女性　５名			
５０代	男性　１名 女性　４名			女性　１名
合計	２６名	４名	７名	１名

		令和７年度　生活介護　定員３０名												
	R7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日（日）	244	22	21	22	22	16	20	23	18	20	20	19	21	243
人数（人）	6553	601	574	598	583	453	536	605	484	547	551	483	538	6409
利用率（%）	89.6	91.1	91.1	90.6	88.3	94.4	89.3	87.7	89.6	91.2	91.8	84.7	85.4	87.9

＊活動内容＊

・４月より３名の方が入所され、契約者数は合計３８名（上図参照）です。

・８月には一富士フードサービスのご協力のもと、納涼祭を行いました。沢山のご家族の方にご参加いただき、盛大に楽しく過ごしました。

・日帰り遠足やクリスマス会、エンジョイサタデー等の行事には、ご家族の方にも参加していただきました。

・日々の活動の中では、公園の散歩以外にもファミレスや、バスで駅まで行くなど、社会体験の機会を増やしました。
・例年通り、TOKAI グローカルフェスタと神田公民館祭りへワークショップとして出店。また、福祉ショップ「ありがとう」、市展示即売会へは定期的に出店しました。
・平塚市よりしんわルネッサンス経由で植竹公園（田村）の除草作業の受注が令和７年度もあり、５月末から６月・１１月の時季に行いました。（毎年猛暑のため、６月に関しては前倒しにて行っています）
・１１月にはご家族向けに日頃召し上がっていただいている給食の試食会を兼ねたご家族の交流会を行いました。とても好評でした。
・１２月より、意思決定支援を企画、実施しています。

＊行事＊

毎月　避難訓練

月	内容	月	内容
4 月		10 月	品川水族館（日帰り遠足） TOKAI グローカルフェスタ出店 市役所展示即売会 社会福祉展展示 健診、予防接種（下島先生）
5 月		11 月	職員研修（チーム支援について） 虐待・身体拘束研修（やしの木と合同） 給食試食会（ご家族向け）
6 月	市役所展示即売会	12 月	クリスマス会（サンライフガーデン） 市役所展示即売会
7 月	七夕見学 「ありがとう」出店	1 月	
8 月	納涼祭	2 月	健康診断（倉田メディカルクリニック）
9 月	アレセイア湘南高校文化祭委託販売 ぼんぼり市（キャンドルの受注のみ） 懇談会（家族会）	3 月	神田公民館祭出店 「ありがとう」出店 懇談会（家族会） 健診（下島先生）

＊実習生受け入れ＊

・見学対応からの実習として女性３名、２～３日間の受け入れをしています。
（他の事業所を利用しているが、本人に合うところを探している）
・介護体験　１９名

＊研修＊

・全体研修

（NPO 法人）PDD　サポートセンターグリーンフォレストの志賀利一様を講師に招き、「生活介護事業所のチーム支援について」をやしの木と共同でご講義いただきました。

・虐待防止・身体拘束

資料映像を鑑賞し、やしの木の職員と合同でグループワークをしながら、現在の支援方法などの話し合いを行った。

＊その他＊

・ご家族の高齢化や共働きのご家庭などを中心にグループホームへ入居される方が増えています。また、日中活動を併用利用されている方も増え、相談事業所を交えた包括的な支援になってきています。年度内に１名の方がグループホームの入居が決まりました。

・今年度で他事業所に移られ、退所された方が１名いらっしゃいました。

令和７年度　グループホームやしの木　事業報告

＜共同生活援助＞

＊利用状況＊

定員　９名　　現員　９名　　（男性４名　女性５名）　　令和８年３月３１日現在

支援区分	区分４	区分５	区分６	平均支援区分
	１名	６名	２名	５.１

	２０代	３０代	４０代	５０代
平塚市	女性　１名	男性　１名 女性　１名	男性　３名	
伊勢原市		女性　２名		
厚木市	女性　１名			
合計	女性　２名	男性　２名 女性　３名	男性　３名	

	R6 年度	令和７年度　共同生活援助　定員９名												
	計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日（日）	282	26	27	25	27	20	26	27	24	24	27	24	26	282
人数（人）	2,034	214	217	198	226	165	216	228	200	197	226	197	220	2,504

＊概要＊

・令和７年４月に１名入居され、満床となっている。

・感染予防を徹底し、入居者で感染者を出すことなく年度を終えることができた。また、納涼祭や忘年会を親御さんにも声をかけ全員で行うことができた。

・令和８年３月 16 日に地域連携推進会議を開催。出席者は利用者１名、保護者１名、地域の方（田村地区町内福祉村スタッフ、やしの木勤務経験あり）、福祉関係者（やまげら相談員）、平塚市障がい福祉課のケースワーカー、管理者、サビ管。事業所の概要、利用者の状況、地域との連携などを議題とした。

＊行事＊

４月　懇談会

８月　納涼祭

１２月　忘年会　※　誕生日の方がいる月に誕生会を行った。

＊研修＊

１１月７日におあしす湘南と合同で「チーム支援について」の研修を行った。

同日虐待防止、身体拘束適正化研修も合同で開催した。

＊その他＊

・日々の生活や活動は安定しているが、変わりない生活となっているため、体操など新たな活動を検討している。

＜短期入所＞

＊利用状況＊

定員　４名　　契約者数　４５名

支援区分	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	平均支援区分
	１名	５名	１２名	１９名	８名	４.６

	R6 年度	令和７年度　短期入所　定員４名												
	計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日（日）	282	26	27	25	27	20	26	27	24	24	27	24	26	282
人数（人）	854	91	101	109	111	85	100	102	108	107	103	107	106	1,230

＊概要＊

・令和６年度に比べ、大幅に利用率が上がっている。また、新たに契約された方も増えている一方で、多く利用されている方のグループホームへの入居で契約を終了される方もいた。また、利用される方の区分が低い方が多くなってきている。

＊その他＊

・利用者が変わるたびに消毒、布団乾燥を行い、感染予防に努めていた。

・外部からの見学者が増えてきている。（アットホームさが好評）

令和７年度　「白星園」事業報告

1. 事業名　精神障害者　指定共同生活援助
2. 住所　茅ケ崎市甘沼 123
3. 事業内容　定員６名　共同生活援助
4. 白星園全体として

今年度は利用者の入れ替わりなく落ち着いて過ごされました。7 月に鑑賞会として落語を楽しみました。9 月に流しそうめん大会 10 月にはマザー牧場へ日帰り遠足等行いました。入居者同士のかかわり方についてメンバーミーティング等で意見交換を積極的にする事でお互いの理解が深められるようにサポートしました。地域の人々への透明性や支援の質の向上を目的として、8 月に地域連携推進会開催、9 月に見学会開催致しました。BCP 対策委員会を開き、災害時に事業を継続出来るように再度確認しました。

5. 入居者

定員 ６名 / 現員 ６名（男性５名、女性１名）

障害支援区分：区分２（３名）、区分３（２名）、区分４（１名）

年間延べ利用者数（人日）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
区分２	60	62	60	31	31	30	31	30	31	31	28	31	456
区分３	90	93	90	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1369
区分４	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
合計	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190

6. 支援内容

食事提供（朝、夕）
服薬支援　出納帳の記入の補助
通院同行　主治医との連携
清掃に関する支援　部屋の片付
メンバーミーティング（毎月１回）
デイケアとの連携　通所先との連携
サービス利用計画書作成支援
個別支援計画書作成支援
毎月職員会議　　ケア会議

日曜日おやつ会　防災訓練
誕生会　買物同行　行政手続補助

行事や遠足

4 月	防災訓練（火災）	10 月	日帰り遠足（マザー牧場）
5 月	F さん誕生会 虐待防止研修	11 月	地区安否確認訓練参加
6 月	Mさん誕生会 食品衛生講習会	12 月	年越しそば
7 月	鑑賞会（落語）	1 月	正月（１～３日おせち料理） 防災訓練（地震）、消火訓練 虐待防止委員会
8 月	Ｉさん誕生会 地域連携推進会	2 月	I さん誕生会
9 月	流しそうめん大会 地域連携推進会（見学会） BCP 対策委員会	3 月	Kさん誕生会

7．職員体制
管理者１名、サービス管理責任者１名（非常勤職員）常勤世話人１名（管理者兼務）、非常勤職員世話人２名、非常勤職員生活支援員１名（世話人兼務）
8．職員研修について
サービス管理責任者実践研修、神奈川県虐待防止権利擁護研修（管理者コース）
伴走型支援基礎講座
9.その他
茅ヶ崎地区精神障害者生活ホーム連絡会、茅ヶ崎寒川ホーム連絡会等出席

令和７年度　「アイハイム」事業報告

1. 事業名　精神障害者　指定共同生活援助
2. 住所　茅ヶ崎市本村 4－13－26　　及び　　松林 3－6－30（令和８年１月 31 日閉所）
3. 事業内容　定員９名：本村５名、松林４名（令和８年１月 31 日まで）　共同生活援助
   定員５名：本村５名（令和８年２月１日より）
4. アイハイム全体として

今年度は、建物の取り壊しに伴いアイハイム松林を令和８年１月 31 日付で閉所し、本村への転居や退去の手続きを計画的に進めました。また、入居者の高齢化や精神症状の波に合わせ、医療機関や行政（生活保護・介護保険等）との密な連携を図り、入院・退院時の支援や外部サービスの導入など、個々の状況に応じた生活安定のための環境調整を行いました。

5. 入居者　令和８年３月現在

現員：５名（男性２名、女性３名）

障害支援区分内訳：区分２（3 名）、区分３（2 名）

※今年度は建物の取り壊しに伴い「松林」を令和８年１月 31 日に閉所したため、2 月以降は「本村」の定員５名・現員５名（満床）で運営しております。また、年度中に退去された方が２名いらっしゃいました。

年間延べ利用者数（人日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
区分無し	30	31	30	31	26	0	0	0	0	0	0	0	148
区分 2	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1095
区分 3	90	93	90	93	93	90	93	90	93	62	56	62	1005
区分 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	210	217	210	217	212	180	186	180	186	155	140	155	2248

6. 支援内容

食事作り補助
買物同行
手続き同行
希望や提案による生活支援（部屋の片付け、掃除、出納帳の記入補助）
個別支援計画作成及びそれに伴う支援の実施
通院同行や病院と連携
入院時支援
就労相談

防災訓練

メンバー・ミーティング（月１回）

入居者会（本村月１回・松林 R7 年 12 月まで月１回）

スタッフ会議ケア会議の実施

行事

4 月		10 月	
5 月		11 月	誕生日外食
6 月		12 月	クリスマス会＆忘年会
7 月	暑気払い	1 月	
8 月		2 月	
9 月	誕生日外食・消火器訓練	3 月	誕生日外食・消火器訓練

7. 職員体制

管理者・常勤世話人・生活支援員 １名（兼任）

サービス管理責任者 １名（兼任）

非常勤職員 ２名

8.研修参加

食品衛生研修会

虐待防止研修

グループスーパービジョン研修